長野赤十字病院　血液腫瘍　レジメン一覧表　2026.10.1

急性骨髄性白血病

レジメン	使用薬剤	投与量	投与日	投与間隔	承認年月	認定レベル
AML97寛解導入療法	シタラビン	100mg/㎡	day1-7		2009. 7.3 2016.9.9 一部改変	A-1
	イダルビシン	12mg/㎡	day1-3			
AML97地固め療法①	シタラビン	200mg/㎡（＜65歳） 160mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
	ミトキサントロン	7mg/㎡（＜65歳） 5.6mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-3			
AML97地固め療法②	シタラビン	200mg/㎡（＜65歳） 160mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
	ダウノルビシン	50mg/㎡（＜65歳） 40mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-3			
AML97地固め療法③	シタラビン	200mg/㎡（＜65歳） 160mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
	アクラルビシン	20mg/㎡（＜65歳） 16mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
AML97地固め療法④	シタラビン	200mg/㎡（＜65歳） 160mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
	エトポシド	100mg/㎡（＜65歳） 80mg/㎡（65≦　＜70歳）	day1-5			
	ビンクリスチン	0.8mg/㎡（＜65歳） 0.64mg/㎡（65≦　＜70歳）	day8			
	ビンデシン	2mg/㎡（＜65歳） 投与しない（65≦　＜70歳）	day10			
AML201寛解導入療法（DNR＋Ara－C）	シタラビン	100mg/㎡	day1-7		2010.7.9	C-1
	ダウノルビシン	50mg/㎡	day1-5			
（改変）AML201寛解導入療法　70歳以上 （DNR＋Ara－C）	シタラビン	100mg/㎡	day1-7		2010.7.9	C-1
	ダウノルビシン	35mg/㎡	day1-5			
Ara-C大量療法 （AML201）	シタラビン	2000mg/㎡×2 1500mg/㎡×2（60歳以上で考慮）	day1-5		2009.9.11	C-1
Ara-C大量療法（CALGB）	シタラビン	2000mg/㎡×2	day1,3,5		2009.9.11	C-1
AV（G）療法	シタラビン	20mg/body	day1-14	4週毎	2009.12.11	C-1
	エトポシド	50mg/body	day1-14			
	フィルグラスチム	75μg	（患者の状態に合わせて使			
CA±G療法	シタラビン	10mg/㎡	day1-14	4週毎	2009.6.12	C-1
	アクラルビシン	10　ro 14mg/㎡	dy1-4			
	フィルグラスチム	75μg	day1-14			
GO療法	ゲムツズマブオゾガマイシン	3mg/㎡	dat1,4,7	2週毎	2009.12.19	C-1
GML200改変地固め療法第1コース	シタラビン	80mg/㎡	day1-5	4週毎	2016.3.11	D-1
	ミトキサントロン	5mg/㎡	day1-3			
GML200改変地固め療法第2コース	シタラビン	80mg/㎡	day1-5	4週毎		
	ダウノルビシン	25mg/㎡	day1-2			
	エトポシド	75mg/㎡	day1-3			
GML200改変地固め療法第3コース	シタラビン	80mg/㎡	day1-5	4週毎		
	アクラルビシン	10mg/㎡	day1-5			
miniMEC療法	ミトキサントロン	8mg/㎡	day1-3		2017..1.13	C-1
	エトポシド	100mg/㎡	day1-5			
	シタラビン	100mg/㎡	day1-7			
GML219 寛解導入療法（DNR+Ara-C）	シタラビン	100mg/㎡	day1-7		2020.1.10	F
	ダウノルビシン	45mg/㎡（65-69歳）	day1-3			
		35mg/㎡（70-74歳）				
GML219 寛解導入療法地固め第1コース （MIT+AraC）	シタラビン	200mg/㎡	day1-5			
	ミトキサントロン	7mg/㎡（65-69歳）	day1-3			
		5mg/㎡（70-74歳）				
GML219 寛解導入療法地固め第2コース （DNR+AraC）	シタラビン	200mg/㎡	day1-5			
	ダウノルビシン	40mg/㎡（65-69歳）	day1-2			
		30mg/㎡（70-74歳）				
GML219 寛解導入療法地固め第3コース （ACR+AraC）	シタラビン	200mg/㎡	day1-5			
	アクラルビシン	16mg/㎡（65-69歳）	day1-2			
		14mg/㎡（70-74歳）				
S-HAM療法	シタラビン	2000mg/㎡　×2（60歳以上1000mg/㎡の減量を考慮）	day1,2,8,9		2020.4.13	C-1
	ミトキサントロン	10mg/㎡	day3, 4,10,11			

ベネトクラクス＋アザシチジン療法 第1コース	ベネトクラクス （CYP3A4阻害剤併用で減量する）	100mg/body	day1	4週毎	2021.5.13	A-1
		200mg/body	day2			
		400mg/body	day3以降			
	アザシチジン	75mg/㎡	day1-7			
ベネトクラクス＋アザシチジン療法 （2コース目以降）	ベネトクラクス （CYP3A4阻害剤併用で減量する）	400mg/body	day1-28	4週毎		
	アザシチジン	75mg/㎡	day1-7			
ベネトクラクス＋低用量シタラビン併用療 第1コース	ベネトクラクス （CYP3A4阻害剤併用で減量する）	100mg/body	day1-28	4週毎	2021.5.13	A-1
		200mg/body	day2			
		400mg/body	day3以降			
		600mg/body				
	シタラビン	20mg/㎡	day1-10			
ベネトクラクス＋低用量シタラビン併用療 2コース以降	ベネトクラクス （CYP3A4阻害剤併用で減量する）	600mg/body	day1-28	4週毎		
	シタラビン	20mg/㎡	day1-10			
キザルチニブ＋DNR+Ara-C 寛解導入療法	シタラビン	100mg/㎡	day1-7	2サイクル目を実施する場合には7＋3療法または5＋2療法のいずれかを選択すること	2023.7.6 （キザルチニブはCYP3A4阻害剤の併用有無によって用量変更）	A-1
	ダウノルビシン	60mg/㎡	day1-3			
	キザルチニブ	35.4mg/body	day8-21			
キザルチニブ＋IDA+Ara-C 寛解導入療法	シタラビン	100mg/㎡	day1-7	2サイクル目を実施する場合には7＋3療法または5＋2療法のいずれかを選択すること		
	イダルビシン	12mg/㎡	day1-3			
	キザルチニブ	35.4mg/body	day8-21			
キザルチニブ＋Ara-C大量療法	シタラビン	3000mg/㎡ or 1500mg/㎡ ×	day1,3,5			
	キザルチニブ	35.4mg/body	day6-19			
キザルチニブ維持療法	キザルチニブ	26.5mg/body	サイクル1のday1-15	4週間		
		53mg/body	サイクル1の16日目以降			
ダウノルビシン・シタラビン リポゾーム製剤 寛解導入療法	ビキセオス R	100ユニット/㎡	day1,3,5	2サイクル目：1サイクル目投与開始から2-5週後に2サイクル目を	2024.7.4	A-1
ダウノルビシン・シタラビン リポゾーム製剤 地固め療法	ビキセオス R	65ユニット/㎡	day1,3	1サイクル目：最後の寛解導入療法開始から5～8週後に開始 2サイクル目前治療開始から5～8週後に開始		
ベネトクラクス＋低用量アザシチジン療法 （移植後維持 漸増あり）	ベネトクラクス	100mg/body	day1	4週毎	2025.11.9	D-1
	ベネトクラクス	200mg/body	day2			
	ベネトクラクス	400mg/body	day3-14			
	アザシチジン	36mg/㎡	day1-5			
ベネトクラクス＋低用量アザシチジン療法 （移植後維持 漸増なし）	ベネトクラクス	50mg/body	day1-14	4週毎		
	アザシチジン	36mg/㎡	day1-5			
イボシデニブ＋アザシチジン療法	イボシデニブ	500mg/body	day1-28	4週毎	2025.12.4	A-1
	アザシチジン	75mg/㎡	day1-7			

急性前骨髄球性白血病

レジメン	使用薬剤	投与量	投与日	投与間隔	承認年月	認定レベル
APL204寛解導入療法	トレチノイン	45mg/㎡	day1−最長60日		2009.7.3	C−1
	イダルビシン	12mg/㎡	A群なし、B群　day1−2da			
	シタラビン	100mg/㎡	A群なし、B群day1−5			
APL204地固め療法第1コース	ミトキサントロン	7mg/㎡	day1−3			
	シタラビン	200mg/㎡	day1−5			
APL204地固め療法第2コース	ダウノルビシン	50mg/㎡	day1−3			
	シタラビン	200mg/㎡	day1−5			
APL204地固め療法第3コース	イダルビシン	12mg/㎡	day1−3			
	シタラビン	140mg/㎡	day1−5			
APL204維持療法　ATRA療法群	トレチノイン	45mg/㎡	day1−14	3ヶ月毎　2年間		
APL204維持療法　Am80療法群	タミバロテン	6mg/㎡	day1−14	3ヶ月毎　2年間		
ATO療法	亜ヒ酸	0.15mg/kg	day1− 最長60日、地固め療法　25日間		2010.10.29	C−1
APL（C9710)地固め1.2コース	亜ヒ酸	0.15mg/kg	day1− 35	2週空けて2コース	2013.12.13	B−2
APL（C9710)地固め3.4コース	トレチノイン	45mg/㎡	day1−7		2013.12.13	B−1
	ダウノルビシン	50mg/㎡	day1−3			
APL212寛解導入療法	トレチノイン	45mg/㎡	day1−最長60日		2016.2.12	F
	イダルビシン	12mg/㎡	A群なし、B群　day1−2da			
	シタラビン	100mg/㎡	A群なし、B群day1−5			
APL212地固め療法第①、③コース	亜ヒ酸	0.15mg/kg	day1− 35　週に5日間投与	5週間		
APL212地固め療法第②コース	シタラビン	200mg/㎡	day1−5	4週毎		
	ダウノルビシン	50mg/㎡	day1−3			
APL212地固め療法第④コース	ゲムツズマブオゾガマイシン	4mg/㎡	day1,15	4週毎		
APL212維持療法	タミバロテン	6mg/㎡	day1−14	3ヶ月毎		
APL212G寛解導入療法	トレチノイン	45mg/㎡	day1−最長60日		2016.2.12	F
	イダルビシン	8mg/㎡	A群なし、B群　day1−2、C群：Day1−3			
APL212G地固め療法①、③コース	亜ヒ酸	0.15mg/kg	day1− 35　週に5日間投与	5週間		
APL212G維持療法	タミバロテン	6mg/㎡	day1−14	3ヶ月毎		
Ara−C大量療法（APL205R地固め療法	シタラビン	2000mg/㎡　×２ 60歳以上の場合は1500mg/㎡への減量を考	day1.2.3.4		2018.11.9	F

骨髄異形成症候群

レジメン	使用薬剤	投与量	投与日	投与間隔	承認年月	認定レベル
アザシチジン療法	アザシチジン	75mg/㎡	day1−7	4週毎	2011.3.11	A−1
低用量アザシチジン療法	アザシチジン	40mg/㎡	day1−5	4週毎	2011.10.7	D−1